

愛高組新聞

JTU RENTAI

発行所 〒460-0017 名古屋市中区松原二丁目 10-3 愛知社会文化センター内

愛知公立高等学校教職員組合

<http://www.ne.jp/asahi/jtu/aikoso2/>

TEL 052-684-4312

FAX 052-684-4314

rentai@aqua.ocn.ne.jp



URL(新)



e-mail



妙見の森（兵庫県・川西市）

2024教育委員会所管分当初予算

新年度教育委員会所管分の予算は、約4700億円(対前年度11%増)で、項別の比較は、総務費14%増、小学校費7%増、中学校費6%増、高等学校費24%増、特別支援学校費3%減、生涯学習費25%増、保健体育費2%減です。

高校の特色化と再編

① 中高一貫(中学校舎)の整備が行われます。

25年度開校

明和・半田・津島・刈谷

26年度開校

時習館・豊田西・西尾・日進・愛知総合工科

② 津島北・海翔を統合した新校を津島北校地に25年度に開校します。

③ 三谷水産の新しい実習船(25年3月竣工予定)の建造が始まります。

フレキシブルハイスクール

佐屋・武豊・豊野・御津あお

ばの4校に全日・昼定・通信の3課程を置き、異なる課程間を行き来できる学びが25年4月から始まります。

夜間中学の設置

日本語の基礎指導、義務教育

の学び直しに対応する夜間中学が設置されます。

25年度 豊橋工科高内

26年度 豊田西・小牧・一宮高内

教育環境整備

① 長寿命化改修を89棟、設計を87棟で行います。

② 体育館・武道場の空調設備(先月号で既報)

③ 名古屋盲・岡崎盲学校で、エレベーター設置に向けた基本調査が始まります。

④ いなざわ特別支援学校・小牧特別支援学校の校舎増築について、建設工事と実施設計が行われます。

⑤ 名古屋東部に肢体不自由特別支援学校、西三河北部に知的障害特別支援学校を新設するための実施設計が行われます。(27年4月開校)

⑥ 医療的ケア充実のために常勤看護師を16↓17人に、非常勤看護師を103↓118人に増員します。

非常勤講師報酬単価
非常勤講師の報酬単価が微増します。昼間||2830円(10円十)、夜間||3010円(10円十)、通信の面接指導||9690円(30円十)、添削4通||1630円(10円十)です。

1 教職員定数

区分		全日制		定時制		通信制		合計	
		2024年	2023年	2024年	2023年	2024年	2023年	2024年	2023年
校長 教頭 教諭	法定	7,033	6,988	358	355	53	51	7,444	7,394
	県単	23	11					23	11
	計	7,056	6,999	358	355	53	51	7,467	7,405
養護教諭	法定	227	225	26	26			253	251
	県単	1	1	3	3			4	4
	計	228	226	29	29			257	255
実習教員	法定	511	509	22	22			533	531
事務職員	法定	508	510	31	31	6	6	545	547
	県単	17	13					17	13
	計	525	523	31	31	6	6	562	560
用務員	県単	41	42	4	4	1	1	46	47
栄養士	県単			6	6			6	6
調理員	県単			5	9			5	9
船員	県単	13	13					13	13
合計	法定	8,279	8,232	437	434	59	57	8,775	8,723
	県単	95	80	18	22	1	1	114	103
	計	8,374	8,312	455	456	60	58	8,889	8,826

20秒で読めるルーブル

36.ピエロ

H.Y.

画家ヴァアトーが描いた《ピエロ》は、誰が何のために依頼したのか不明の謎が多い絵。



ピエロは見ているこちらが悲しくなるようなもの憂げな眼をしている。

ヴァアトーは「ロココ」と呼ばれる甘美なスタイルの絵を確立し人気を得た。

しかしヴァアトーは人目が出るほど人目を避けて隠れるように生きたと言われている。



ひよつとすると、このピエロの表情は実在の人物ではなくヴァアトーの精神を表したものではないだろうか。

【参考】
中野京子(2016)
「はじめてのルーブル」

ア 学級編成増減の詳細

	全日制		定時制		合計	
	24年	23年	24年	23年	24年	23年
募集学級による増減	6減	5減	0	2増	6減	3減
学年進行による増減	9増	17減	1増	2減	10増	19減
全体の増減	3増	22減	1増	0	4増	22減

イ 教職員定数増減の内訳

	24年	23年
学級増減等に伴う定数増減	27人増	46人減
県単定数見直し	7人増	3人減
初任研等	8人減	11人増
短時間再任用希望者に伴う増減	37人増	44人増
計	63人増	6人増

ウ 再任用短時間専任換算分

	24年	23年
教諭	174人	208人
養護教諭	1人	1人
実習教員	15人	18人
調理員	0人	0人
計	190人	227人

※フルタイムは、定数内整理

エ 非常勤講師時間等＝専任換算分

	全日制		定時制		通信制	
	24年	23年	24年	23年	24年	23年
非常勤崩し分	236人	233人	27人	27人		
充指導主事分	23人	23人				
非常勤養護員					1人	1人
嘱託員(事務)	52人	48人	1人	1人	1人	1人
嘱託員(用務)	249人	249人	24人	24人	1人	1人
嘱託員(調理)			1人	3人		
計	560人	553人	53人	55人	3人	3人

2 非常勤講師時間

区分	24年度	積算内訳	23年度	積算内訳	増減
生徒指導充実(カウンセラー)	684 H	12H×57人	684 H	12H×57人	0 H
進路指導充実のための非常勤講師時間	104 H	52H×2人	104 H	52H×2人	0 H
習熟度別対応分	1,040 H	52H×20人	936 H	52H×18人	+104 H
新教科情報対応分	5,616 H	52H×108人	5,512 H	52H×106人	+104 H
複数教頭配置対応分	444 H	12H×37人	504 H	12H×42人	-60 H
妊娠女子体育教員の負担軽減	60 H		60 H		0 H
単位制修業年限・弾力化非常勤講師時間	104 H	52H×2人	104 H	52H×2人	0 H
実験実習加配(調整用)	1,703 H		1,703 H		0 H
帰国子女対応, 研究指定等	572 H		572 H		0 H
中学開設準備	160 H				160 H
計	10,487 H		10,179 H		+308 H

れ ん ら く

2024年1月1日16時6分に発生した能登半島地震の復旧も徐々にではありますが進んでいます。しかし、元の生活に戻るには相当の年月を要するのではと懸念されます。物理的な被災のみならず、特に、メンタル面に与える影響が心配されます。愛高組は、被災地の一日も早い復興と被災された方々の安心を心より祈念し、災害救援カンパを実施しています。ご協力をお願いします。

赤ペン

552

名古屋市教育委員会の金品授受という不祥事が明るみに出たが、長年名古屋市の教育に関わった者としてはさもありなんというのが正直な感想である。

全国の教委でこうした慣習があるとは思えないが、この根源は教育委員会制度そのものにあると思われる。教育委員会制度は戦後に教育の民主化を目的としてGHQの指令で導入されたものであるが、住民の選挙で選ばれた教育委員が権限と責任を持つ事が前提となっている。しかしながら、

『能登半島地震』災害救援カンパにご協力ありがとうございました。

◎ これからのおもな運動の日程

- 3/20(水) さよなら原発全国集会
- 4/20(土) 24年度新任組織拡大・強化担当者会議
- 4/23(火) 初任者勧誘行動日
- 4/26(金) 24年度第1回部活動検討委員会

教育委員は公選制が廃止されて久しく、名誉職化しており、事実上教員出身の指導主事を中心とした事務部門が実権を持っている。さらに教育の政治的介入を避けるため首長部局から独立していることが逆にブラックボックス化しているとの批判もある。
二〇一五年より総合教育会議が設置されたものの、あまり効果をあげていないようである。学校教育に対する信頼回復をはかるためには、教育行政への市民参加を積極的にすすめる改革が急務と思われる。(H)

遺珠点 82

「先生、元氣ですか？」
声がかかっているのが自分とは思わなかったけれど、ふと顔を挙げて左右を見渡してしまった。近くに見知った姿もなく、やっぱりと思いつつまた買物の物色を始めた。そうしたら、「こっちこっち」とまた声がする。場所は隣のスーパーである。よく利用するとも言えないが、たまに新聞のチラシに欲しいものが出ると寄り添う。

「こっちこっち」
また声がかかって、前にある扉がパカッと開いた。白い前掛け姿に白い帽子、黒縁眼鏡にマスクをした顔は私を見ている。マスクの上の目が笑っている。

「あ、あのー……」
「はは、わからんよね」
「あの、もしかして、Yくん？」

「お、あたりー！」
「ずいぶん前に一時期教えた子(もう「子」じゃないけど)だった。一時期と言ったのは、彼は卒業しなかった人だからだ。しかも、学年末に私の授業で単位不認定になった。」

現役時代、私はかなり教師としては狂狷だった。ここはどうしてもというところは断じて譲らなかった。

努力すれば難なく獲得でき

る課題点、これを取れないと不認定にする、また、これに合格していれば認定する、と年度当初に全員を前にして宣言していた。内容は、極めて基本的な漢字と語彙の二〇〇問テストで、事前に出題と同じプリントを渡す。年に五回やる。これに一度一六〇点以上とればよいという基準だった。多くは二回までに一六〇点以上をとって安堵の大喜びをし、残る者たちも、だいたい四回目を終了するまでに合格して「ヤッター」と喜んでた。そこまで

来ると、残るは一人か二人で「ホントに落とされるかもしれない」と横着者が本気を出す。そうしてみんな無事に進級にたどり着くのだ。ちよつと年長だったYは、私を(というより世の中すべてを)甘く見ていた。一六〇点獲得させようと追加指導を課したのだが、その指導時間には決して遅刻してはならないとの注意にも従わず、のんびりやって来て席に着こうとした。私は許さなかった。

「ちゃんと来たがやー！」
彼は凄んだ。しかし、私は許さなかった。彼が、事前に連絡してきたとか仕事をしていた遅れたとかなら勿論許した。そうではなかったからだ。

翌日、お母さんが来て「何とかお願いします」と懇願されたが、「ダメなものにはダメであることを知らなければ、彼にとって何もプラスにならない」と私は聞き入れなかった。彼は不認定で学校を去った。

そのYが、さぞ恨めしく思っているだろうあの時の教師に声をかけてきた。
「元氣そうだね」
「おかげさまで、先生も元氣そうだね」

それだけ言った後、Yは、後ろを通った同僚に「ちよつと五分だけゴメン、高校のオンシだ」と言いつつ隅の方に私を誘った。そして、話してくれた。

退学した後、親と喧嘩して家を出た。友達紹介でアルバイトを始めて、半年くらいして子どもができて、親に詫言を入れて結婚させてもらった。その後もパツとしなかったけれど、子供が幼稚園に入った時、このままではイカンと思って通信制に行った。初めて本気で勉強して卒業した。ものすごく感動した。
「今はオレ、子どもに『やれることをちゃんとやれ』と言えるよ」

そして、「先生、あの時はお世話になりました、今オレ主任だよ、頑張ってますよ」
Yは朗らかな調子で、「また来てください、じゃー！」と仕事に戻っていった。(き)